

令和 4 年度

北栄町教育委員会
事務管理及び執行状況点検評価報告書

令和 5 年 6 月

目次

はじめに	1
I 令和4年度北栄町教育委員会の活動状況	2
1 教育長及び教育委員	2
2 教育委員会議の開催状況	2
3 点検評価及び今後の方向性	3
II 教育委員の活動	3
1 学校等計画訪問	3
2 教育委員の行政視察・調査及び研修等	3
3 教育委員会（こども園・学校）主催会議・行事への参加	4
4 点検評価及び今後の方向性	4
III 令和4年度北栄町教育委員会事業の評価について	4
1 評価の方法	4
2 基本目標、基本施策と事業名	5
3 評価結果と意見等	9
IV 委員及び活動の詳細	22
1 教員委員・教育長	22
2 教育委員会等の会議の詳細	22

はじめに

令和 4 年度における教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検評価を行い、その結果を報告書としてとりまとめました。

点検評価の具体的な方法は、教育委員会と教育委員会事務局が行った事務（教育委員会が点検・執行を教育長に委任する事務）と大きく 2 つに分け、それぞれについて点検評価を行いました。

教育委員及び教育委員会が行った活動・事務については、主に教育委員会議の概要及び教育委員の活動について、その内容を記述し、点検評価を行うとともに今後の方向性についても記載しました。

教育委員会事務局が行った事務については、北栄町教育大綱の基本目標、基本施策の体系に基づき、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく施策ごとにまとめ、今後の課題と方向性についても記載しました。

北栄町教育委員会は、今後もこのような活動・事務に対する点検評価を行い、議会への提出や公表を通じて、教育委員会の活動を町民にわかりやすく説明していくとともに、教育行政における地域住民の意向のより一層の反映と保育・教育、スポーツ及び文化の振興に関する施策の総合的な推進に取り組んで参ります。

令和 5 年 6 月

北栄町教育委員会

I 令和4年度北栄町教育委員会の活動状況

1 教育長及び教育委員 (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

氏名	任期	役職
北野 昭雄	R4年4月1日～R5年3月31日(1期) ※R4年9月30日退任	教育長
光村哉智代	H30年11月15日～R4年11月14日(3期)	教育長職務代理 (～R4.9.30)
徳岡 幸裕	H29年11月15日～R7年11月14日(2期)	委員(～R4.9.30) 教育長職務代理 (R4.10.1～)
竹信 純一	H30年4月1日～R6年11月14日(2期)	委員
吉田由香里	R1年11月15日～R5年11月14日(1期)	委員
岡崎しづみ	R4年11月15日～R8年11月14日(1期)	委員

2 教育委員会議の開催状況

(1) 開催回数

定例会議 12回(原則として毎月第4火曜日開催)

臨時会議 2回(6月、3月開催)

(2) 付議件数

区分	内容	件数
議案	規則等に関する事	9件
	議会の議決を経るべき議案に関する事	1件
	人事に関する事	7件
	委員の委嘱等に関する事	9件
	その他	3件
協議		21件

(3) 運営上の工夫

①資料の事前配布

事前に内容についての検討等の準備を行うために、可能な限り会議開催日の3日前までに議案書や資料等を送付しました。

②公開

会議は、人事に関することや、個人情報を含む案件等の一部の非公開案件を除き、原則、すべて公開で行いました。会議終了後、会議録については北

栄町教育委員会のホームページにおいて公開しました。

3 点検評価及び今後の方向性

毎月1回の定例会議と必要に応じて開催する臨時会議を開催しました。会議開催3日前までの資料の配布することにより、事前に審議内容について深く吟味しました。各委員とも高い関心と意識を持って、それぞれの専門的見地から議論を行いました。

会議の公開、ホームページでの会議録等の公開等により、町に開かれた教育委員会の実現に取り組みました。また、会議の内容として、議案、報告のみならず、現在の教育課題や住民の教育に対する意見等を取り上げながら議論を深めていきました。

今後もより一層、教育委員は、教育行政の運営について負う重要な責任を常に自覚し、職務の遂行を行わなければならないと考えています。

II 教育委員の活動

1 学校等計画訪問

(1) 概要

学校現場の実態把握と学校の運営状況について把握するため、教育委員のほか、事務局の各職員が揃って訪問しました。

こども園、小学校、中学校とも年2回（前期：5・6月、後期：10・11月）行いました。

(2) 教育委員の訪問内容

- ・ 園長、校長等からの園、学校の概要説明聞き取り
園、学校評価に基づく、園、学校の課題と具体的な取組み等について
- ・ 保育、授業参観
- ・ 職員との意見交換と指導、助言等

2 教育委員の行政視察・調査及び研修等

(1) 先進地視察

先進的な取り組みを今後の教育施策の参考とすることを目的に計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も実施に至りませ

んでした。

(2) 大会・研修会等

・市町村教育委員会委員等研修会（1月）

3 教育委員会（こども園・学校）主催会議・行事への参加

・小学校・中学校、入学式・卒業式

4 点検評価及び今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、事業が中止されるもの、参加を自粛せざるを得ないものがありました。

このような中、計画訪問については、こども園（4園）、小学校（2校）、中学校（2校）において、前・後期の各2回実施しました。各学校の運営方針、活動状況に加え、施設、教育環境の把握、授業の参観等、さまざまな視点から幼児や児童生徒、教育現場の状況の把握を行い、先生方が子どものためにより一層力が発揮できるよう、学校・園の支援に努めました。

教育委員会が開催する会議や教育関係の各種行事へは、新型コロナウイルス感染症の影響下でも可能な限り参加し、幅広い情報収集を行いました。また、オンライン形式で開催された研修会にも参加し、教育委員としての自己研鑽に努めました。

今後も、視察や研修の成果を施策に還元し、教育行政の更なる発展を図り、また、学校・園による教育連絡会やPTA、議会等との意見交換を通して、幅広く意見を聴取することにも取り組んでいきます。

Ⅲ 令和4年度北栄町教育委員会事業の評価について

1 評価の方法

(1) 4段階評価

事務管理及び執行状況については、令和4年度北栄町教育委員会施策の体系に基づいた20施策、87の実施事業について、次の4段階で評価を実施しました。

評価	達成状況
A	目標を超えて達成
B	ほぼ目標どおり
C	取り組みはあるが、達成が不十分
D	取り組み、達成とも不十分

(2) 内部評価

内部評価は、令和4年度北栄町教育委員会施策の体系に基づいた87の事業について、事務局が4段階評価で自己評価を行いました。

(3) 教育委員会評価

教育委員会評価は、内部評価・外部評価の結果をもとに、20基本施策について教育委員が評価を行いました。

(4) 外部評価

外部評価は、準備が整わず、今年度の実施は見送りました。

2 基本目標、基本施策と事業名

基本目標	基本施策	事業名
子育てなら 北栄町	①すこやかな発育支援	1 ネウボラ事業（※利用者支援事業含む）
		2 発達支援体制整備事業（職員の研修）
		3 発達支援体制整備事業（発達相談、ペアトレ実施）
		4 子育て支援短期利用事業、産前産後サポート事業、産後ケア事業
		5 木育推進事業
		6 1歳児すくすく教室事業
	②未就園乳幼児への支援	7 子育て総務事業（一時預かり事業）
		8 地域子育て支援拠点事業
		9 ファミリーサポートセンター事業
	③幼児教育・保育の充実	10 発達支援体制整備事業（職員の研修）
		11 こども園管理運営事業（施設・設備の整備）
		12 こども園ICT化事業
		13 魅力ある園づくり推進事業
	④子育て家庭の支援	14 放課後児童クラブ委託事業、放課後児童クラブ施

基本目標	基本施策	事業名
教育なら北栄町		設管理事業
		15 在宅育児支援事業
		16 乳幼児健康支援一時預かり事業
		17 休日保育事業
		⑤地域社会で関わる子育て支援
		18 こども園管理運営事業（北栄町同日公開参観日）
		19 親育ち事業
	①確かな学力を育む教育の推進	20 事務局関係負担金事業（少人数学級）
		21 教育力向上事業（学び力向上アクション週間の取り組み）
		22 教育力向上事業（授業研究事業（講師招へい、視察））
		23 教育力向上事業（学力検査の実施）
		24 GIGA スクール構想整備事業
		25 教育力向上事業（サマースクール）
		26 高校生等通学費助成事業
	②豊かな心と社会性を育む教育の推進	27 職場体験学習（ワクワク北条、ワクワク大栄）
		28 教育力向上事業（いじめ対策事業）
		29 中学校管理事業（中学校での心の教室相談事業）
		30 教育力向上事業（生き方を学ぶ講演会）
		31 教育力向上事業（特色ある学校づくり推進事業）
32 教育力向上事業（より良い学校生活を送るためのハイパーQU調査）		
33 学校支援地域事業（SSWの活用）		
34 フリースクール利用料軽減事業		
③健やかな体を育てる教育の充実	35 給食費事業（食育推進、地産地消の推進）	
	36 中学校管理事業（部活動推進事業）	
④保・こ・小・中・高連携の充実	37 教育力向上事業（向ヶ丘レインボープラン・ドリームプロジェクトX）	
⑤特別支援教育の充実	38 幼児通級指導教室設置事業	
	39 言語通級指導教室事業・発達通級指導教室事業	
⑥グローバル化に対応できる教育の推進	40 小学校外国語教育活動事業	
	41 外国青年招致事業（ALT、外国語講師の活用）	
	42 教育力向上事業（イングリッシュスクール、英検助成）	
⑦家庭と地域で育む教育の推	43 コミュニティスクール推進体制構築事業	

基本目標	基本施策	事業名
	進	44 教育力向上事業(地域でこどもを育てる体験活動)
		45 事務局事業(北栄町同日公開参観日)
		46 社会教育推進事業(家庭教育12か条)
		47 子どもほくえい塾事業
	⑧安全で快適な教育施設の整備	48 小中学校管理事業(大規模改造・長寿命化改修)
住み続ける なら北栄町	①人権を尊重するまちづくり の推進	49 人権啓発活動事業
		50 児童館運営事業
		51 人権を学ぶ会事業
		52 人権学習会事業
		53 隣保館運営事業
	②安心で活力ある地域づくり の推進	54 通学路安全対策事業
		55 児童自転車用ヘルメット着用推進事業
	③青少年の健全育成の推進	56 通学合宿事業
		57 青少年育成町民会議交付金事業
		58 成人式事業
	④親しみのもてる生涯学習の 推進	59 社会教育団体活動費補助金事業
		60 社会教育推進事業(出前講座・おとなほくえい塾)
		61 公民館運営事業
		62 公民館講座事業
		63 ほくえい未来ラボ事業
		64 展示・鑑賞・発表経費事業
		65 成果還元活動事業
	⑤スポーツ・文化活動の推進	66 保健体育振興事業(スポーツ県外派遣費補助事業)
		67 ウオーキングのまち北栄町推進事業
		68 北栄スポーツクラブ事業
		69 訪問型ニュースポーツ体験事業
		70 すいか・ながいも健康マラソン大会事業
		71 青少年劇場巡回公演委託事業
		72 芸術文化活動促進事業
		73 北栄文化回廊事業
		74 文化財保護対策事業(民俗芸能伝承事業)
		75 北栄文芸編集・発刊事業
76 民芸実習館事業		
77 町文化団体協議会補助金事業		

基本目標	基本施策	事業名
	⑥暮らしに役立つ図書館づくりの推進	78 図書館運営事業
		79 図書館運営事業（図書館講座・教室事業）
		80 図書館魅力化事業
		81 絵本でつながるまちづくり事業
	⑦地域を学び、まちを支える人づくりの推進	82 地域副読本作成活用事業
		83 歴史民俗資料館（北栄みらい伝承館）展示事業
		84 文化財保護対策事業
		85 町内遺跡発掘調査事業
		86 ウォーキングのまち北栄町推進事業（歴史探訪ウォーク）
87 中学校教育振興事業（中学生と町長が語る会）		

3 評価結果と意見等

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	外部委員会		
子①1	ネウボラ事業(※利用者支援事業含む)	A		◇年次ごとに体制が整い、支援が行き届いてきている。/連携事務効率化へ向けてブラッシュアップを期待する。/木育今後も必要か? ◇すべての事業とも、目標通り実施されている。/各事業の課題に対する改善策の効果が検証が必要と考える。 ◇各事業が概ね目標を達成して、子育ての不安解消等、寄り添いながら支援にあたっていくことができている。/乳児家庭へのプレゼントとして木製品の贈答はともよいと思うが、木のスプーン、乳歯ケースは検討が必要に感じる。 ◇最終評価の課題点は、次年度には反映させること。	・(1)電話、面談以外でのアプローチ方法を検討する。事務の効率化により職員間の連携事務を軽減する。 ・(2)エール巡回相談について、事前に私立園と協議し、活用を勧める。 ・(3)講座実施日を同一にしない。 ・(4)事業の紹介、利用を促していく。またファミリーサポートセンター事業などの他の事業も併せて紹介する。 ・(5)期のおもちゃについて再検討する。 ・(6)参加率が低く、参加してほしい家庭が参加していないため、事業チラシを更新し、地区担当保健師から家庭への声掛けを実施する。
子①2	発達支援体制整備事業(職員の研修)	B			
子①3	発達支援体制整備事業(発達相談、ペアトレ実施)	B			
子①4	子育て支援短期利用事業、産前産後サポート事業、産後ケア事業	B	B		
子①5	木育推進事業	B			
子①6	1歳児すくすく教室事業	B			
子②7	子育て総務事業(一時預かり事業)	B		・(7)直前申込で受け入れができないことがあったため、できるだけ早めに申し込んでいただくことの周知を行う。 ・(8)新規利用の家庭を増やすため、保健師等と連携を取りセンター利用を促したり、おたより作成の際には講座のお知らせ以外にセンターの遊びの様子を随時知らせる。 ・(9)引き続き、提供委員の募集を行う。	
子②8	地域子育て支援拠点事業	B			
子②9	ファミリーサポートセンター事業	B	B		

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	外部委員会		
				いサービスなので、できるだけ満足度を上げてほしいが、利用のためのルールを保護者に理解してもらおうのも大切だと思う。	
子③10	発達支援体制整備事業(職員の研修)	B		◇人員の配置も含め、研修体制の安定を一層図りたい。/遊具以外でも、施設の安全点検に外部の目を入れてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・(10)研修時間や代替職員を確保するため、担当者研修を実施し、効果的・効率的な園内研修の方法を学び合える機会を設ける。 ・(11)各施設とも施設・設備の劣化が進んできているため、点検等を行い、効果的な更新が必要である。 ・(12)タブレットの適性数を管理し、必要に応じて予算要求していく。 ・(13)これまでに事業で行ってきた活動が年度終了後も継続して実施されているか確認し、事業の必要性を判断する。
子③11	こども園管理運営事業(施設・設備の整備)	B		◇職員研修、施設・設備の整備、ICT化ともすべて目標・予定通り実施されている。/ICTを利用し、4園どこからでも情報が閲覧できるデータベースの構築を望む。	
子③12	こども園ICT化事業	B		◇ICT機器の導入により職員の業務軽減が図られたり、園独自の取り組み充実が図られている。	
子③13	魅力ある園づくり推進事業	B	B	◇施設設備の整備について、実績が全て3月になってきているが、中間評価の時点ですでに完了している工事もあると思うので、実績で「〇月」と完了した月を入れたらどうか検討を望みます。	
子④14	放課後児童クラブ委託事業、放課後児童クラブ施設管理事業	B		◇放課後児童クラブは、学童保育機能に加えて教育機関としての役割を果たそうとしていると感じる。そのことを積極的に評価したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・(14)年度始めや長期休暇中の利用希望者が多いため、利用料の見直しの検討、対象者の精査を実施する。 ・(15)職場復帰よりも有利な制度でなければ家庭内保育の増加につながらないため、検討が必要。
子④15	在宅育児支援事業	B	B		
子④16	乳幼児健康支援一時預かり事業	B		◇放課後児童クラブ事業は待機児童0人なのでOK。/在宅育児3万円の支給は、金銭的に妥当か?/一時預かり、休日保育	
子④17	休日保育事業	B			

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
子⑤18	こども園管理運営事業(北栄町同日公開参観日) 親育ち事業	D		<p>は目標どおり実施されている。／放課後児童クラブ利用料の見直し検討、対象者の精査が必要と記載されているが、どういった現状になっているか説明がいたいただきたい。</p> <p>◇公開の中止はやむを得ないが、今後CS時代の公開のあり方を検討してほしい。</p> <p>◇こども園公開参観は、コロナのためやむなし。／親育ち事業は保護者へのかわりを重視する方向へシフトすべき。</p> <p>◇公開保育中止、親育ち事業も小学校では進まなかった。／各学校の性教育年間指導計画に基づいた上でのこの内容がどのように位置づけられているのかを踏まえて進めていく必要があるのでは。</p> <p>◇実施したくてもコロナのため難しかった事は理解できるが、同日参観日に代わる取り組みをされたのかが分からない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(18)感染症対策と地域の理解が必要。 ・(19)これまで教職員向けにアプローチしてきたが、今後は家庭での関りについても保護者へ伝えていく。
子⑤19		C	C	<p>◇少人数学級への期待は高く、事業を継続する必要がある。／講師招聘については、マンネリ化を危惧する。授業研究のあり方の見直しは必要ないか、各学校の自己点検を期待する。／学力検査過多になっっていないか、見直すべき。／ICT活用が手段であることを再確認し、これによりどのような授業をデザインするのかを学校で考えてほしい。／学習補充の場がより</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(21)取組で明らかになったことを学校・園と共有し、自校・自園の課題解決に向けた自主的な取組に反映させていくとともに、生活習慣の改善として位置づけた取組を推奨していく。 ・(24)端末の更新計画や公費負担区分の整理が必要。 ・(25)年々参加者が多くなるためソーシャルディスタンスがとれるよう会場確保が急務である。
教①20	事務局関係負担金事業(少人数学級)	B	B		

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
教①21	教育力向上事業(学び力向上アクション週間の取組み)	B		<p>求められている。</p> <p>◇サマースクールはコロナのためやむを得ない。高校生通学費助成は多くの方に利用されOK、継続してください。他の事業は計画、予定通り実施されているが、学調の結果に反映できていない。学力向上には保護者の理解、協力が不可欠である。保護者をまき込む施策を検討すべき。</p> <p>◇GIGA構想によりタブレット活用も着実に進みはじめている。今後は家庭でも活用できるように全ての学校で進めていただきたい。/各種検査、リーディングテスト等が実施され、分析により授業改善に取り組みされている。さらに朝読書や図書館の活用など、有機的なつながりを持ち力を高めてほしい。</p> <p>◇高校生等通学費助成事業の最終課題はすべて解決できたのか。徹底すべき。</p>	<p>(26)提出書類の記載漏れがあったため、マニュアルを作成し、窓口で確認を強化した。</p>
教①22	教育力向上事業(授業研究事業(講師招へい、視察))	B			
教①23	教育力向上事業(学力検査の実施)	B			
教①24	GIGA スクール構想整備事業	B			
教①25	教育力向上事業(サマースクール)	D			
教①26	高校生等通学費助成事業	A			
教②27	職場体験学習(ワクワク北条、ワクワク大栄)	B		<p>◇職場体験の意義は、子どものキャリア形成にとっても、また地域理解の場としても大きい。学校のみ任せず機会の拡大を図りたい。/学校はいじめの早期発見、早期対応によく努力している。/生き方を学ぶ講演会については、テーマや講師について事務局からの情報提供や小中での情報交換を行うことで事業の活性化を図りたい。/本当に意味のある特色と呼べるものが次々と生まれるものではないと思う。本事業</p>	<p>(27)実施期間中にPCR検査等により体験が不十分であった生徒がいた。</p> <p>(28)児童生徒が意見交換することが重要であるため、参集型で実施できるような工夫が必要。</p> <p>(30)小学校で実施未定があるが、検討中。</p> <p>(31)事業の継続性や計画作成にあたっての各校の負担。</p> <p>(33)学校によって活用のばらつきがあるため、SSWの活動の周知が必要。</p>
教②28	教育力向上事業(いじめ対策事業)	B			
教②29	中学校管理事業(中学校での心の教室相談事業)	B	B		
教②30	教育力向上事業(生き方を学ぶ講演会)	C			
教②31	教育力向上事業(特色ある学校づくり推進事業)	B			

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
教②32	教育力向上事業(より良い学校生活を送るためのハイパーQU調査)	B		<p>業で生まれた特色を維持できる方向に事業見直しをするとともに、別の方法で学校長の意向を反映できるよう支援したい。/SSWについて学校での活用のばらつきを要因を分析し、改善を図りたい。</p> <p>◇すべての事業は、ほぼ予定・計画通り実施されている。/SSWをもっと有効的に色々な場面でかかわってもらえないか検討してください。</p> <p>◇不登校児童生徒が今年度も高い割合となっており、こどもに寄り添う対応は手厚いと思うが、こども園からの縦の連携は取れているのか気になるところである。</p> <p>◇心の教室相談事業で、生徒が気軽に相談できる環境が整っていることは素晴らしいと思う。/SSWの活用で、学校によってSSWの受入、校内体制に差があるのが残念。</p>	
教②33	学校支援地域事業(SSWの活用)	B			
教②34	フリースクール利用料軽減事業	B			
教③35	給食費事業(食育推進、地産地消の推進) 中学校管理事業(部活動推進事業)	B	B	<p>◇給食はコロナ禍で難しいやりくりが必要だった中、高い水準を保つことかできた。給食が学校の自慢の一つととらえている子どもがある。/部活の地域移行についてさらに踏み込んでいかなければならない。</p> <p>◇給食事業は地産地消率が90%以上と高水準を維持している。今後も地産地消を維持できる様に努力してほしい。/部活動の地域移行は時代のニーズであり、更に進めていきたい。</p> <p>◇部活動指導員の増員(簡単ではないが)を今後も図りながら教員の軽減を進めてほしい。また、地域移行もさらに進めてほしい。</p>	<p>(35)地産地消について子どもたちの理解が進むよう今後も継続した取り組みが必要で、より効果的な方法を検討する。</p> <p>(36)実際の時間削減については取り組みが不十分のため、顧問を2人配置している部活動についてはどちらかの時間は削減できるように調整を促す。地域移行に向けて方針が進められていないが、中部地区の市町で協働し地域移行についての検討を進める。</p>
教③36		B			

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
教④37	教育力向上事業(向ヶ丘レインポープラン・ドリムプロジェクトX)	B	B	◇部活動の地域移行は難しく、課題が多い。 ◇CSに組み込んでいく形を検討してほしい。 ◇保・こ・小・中の連携は、それなりに実施でき効果もあると感じられるが、高校との連携効果が感じられない。/高校との連携について検討すべき。 ◇年々、交流活動が進められてきて、つながりが深まっていると感じる。一方、交流活動を充実させるあまり、各園、学校における活動で本来の幼児・児童・生徒一人ひとりの力を高めることが十分にできているかも考慮しバランスを検討することも必要ではなかろうか。 ◇今後も交流事業を継続して上級学年者が身近な目標となる人になってほしい。ただ効果があつたかどうかを確認できません。	・(37)コロナのため計画どおりにできなかつた事業があるため、これまでのやり方にとかわらずに新しい交流を模索する。
教⑤38	幼児通級指導教室設置事業	A		◇ニーズに合わせた柔軟な支援体制がとれており効果も現れている。 ◇幼児通級、言語・発達通級は近年増加している。これらの特別支援に対して目標を超える良い結果が出ている。 ◇しっかりと指導され、目標以上の達成がなされている。 ◇新しい希望児童を受け入れるために、無理に退級を勧めたりすることがないように。	・(39)主訴の改善がなかなか見られない、新たな主訴が見られたり、何年も利用を継続している児童が見られるため、退級の判断を明確にできるようなルールの設定と、保護者への説明と提案を行う。
教⑤39	言語通級指導教室事業・発達通級指導教室事業	A	A		
教⑥40	小学校外国語教育活動事業	C	B	◇外国語専科教員が両校区を兼務していること、外国語支援員、ALTの配置をしている	・(40)小中学校相互の学習内容の共有と共通理解が必要で、小中が連携できる場を設定

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	外部委員会		
教⑥41	外国青年招致事業(ALT、外国語講師の活用) 教育力向上事業(イングリッシュスクール、英検助成)	B		<p>ことなどをより生かし、一貫性のある英語教育を進めたい。/英検は助成者数のみならず、3級取得者率を評価指標としてはどうか。</p> <p>◇すべての事業で予定、目標通り実施できている。/英語教育において苦手意識のある児童・生徒達へのアプローチについても検討すべき。</p> <p>◇目標は達成されているものの、英語に触れる機会が、ALT教員に限られ、もつと生の英語に関われる機会を設ける必要があるように思う。</p> <p>◇イングリッシュスクールについては、地域からのボランティアを積極的に呼びかけてほしい。</p>	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(41)授業で効果的活用を図ることが必要で、授業研究や中学校授業での活用を進める。 ・(42)イングリッシュスクールの講師が不足する日があったため、地域からのボランティアを募る。
教⑥42		B			
教⑦43	コミュニティスクール推進体制構築事業	B		◇CSについては、コロナによる縮小、変更はあったが、活動の定着が見えてきた。/公開の中止はやむを得ないが、今後CS時代の公開のあり方を検討してほしい。/子どもほくえい塾等、地域での事業成果を学校と共有する手だてを検討したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・(43)コロナ感染拡大防止のため、一部事業で中止、縮小となっているので、できる形で事業実施する。
教⑦44	教育力向上事業(地域でこどもを育てる体験活動)	C		◇地域でこどもを育てる体験活動は、事業対象者の変更を視野に入れて検討すべき(活動経験のない人達が事業者になるのは難しい)。/家庭教育12か条の言葉だけでなく、意味や理由を理解してもらおう工夫が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・(44)引き続き、事業周知と手続の効率化を図ることとし、HPや町FBで周知できないうか検討する。
教⑦45	事務局事業(北栄町同日公開参観日)	C			<ul style="list-style-type: none"> ・(45)コロナ感染拡大防止のため、参観者の制限が必要。
教⑦46	社会教育推進事業(家庭教育12か条)	C	B		<ul style="list-style-type: none"> ・(46)家庭教育12か条の更なる浸透に向けて工夫が必要で、引き続き呼びかけ方の工夫や対象者の拡大などを継続する。
教⑦47	子どもほくえい塾事業	A		◇教育力向上事業は、取り組みとしては評価できるものの、自治会主体で進めていくためには、支援やアドバイス等が必要であると思う。特に地域の中心となる人材を育成していくことが大切ではないだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・(47)新型コロナウイルスの今後の拡大状況によっては講座の規模縮小や実施できないものも出てくるかもしれない、感染対策に努めたり、状況に応じた計画内容の工夫をしながら進めていく。

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
				◇基本だと思っっているあいさつができてい るとは言い難いので、まず、あいさつを徹 底すべきだと思う。	
教④48	小中学校管理事業(大規模改造・長寿命化改修)	B	B	◇安全を第一に考えて計画的な整備を進め たい。 ◇計画通り実施されており、OK。 ◇計画通り実施された。	
住①49	人権啓発活動事業	B		◇SDGsの観点からの啓発を工夫している。 今後の広がりを期待したい。/海岸清掃 など、地域の自然と向き合う行事に取り 組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・(49)テーマ関係団体との連携について、単 年度だけでなく翌年度以降も継続した連携 を図ることが必要。/魅力ある人権啓発で、 参加したい、継続したいと思わせる仕掛け 作りが必要。 ・(50)ボランティア登録制度を核に地域との つながりを深め、人権発信拠点の機能を発 揮させる取り組みが必要で、SNSを活用 した情報発信・共有を行う。/児童の健全 育成をより推進するため、児童厚生員に関 する各種研修等への参加を進める。 ・(51)コロナの影響を受け、全自治会での実 施となっておらず、参加者数が減少傾向か ら連携し、参加者数の維持・増加を図る。/ 従来から概ね40歳代までの若い層の割合 が低いため、人権教育推進協力員会議を活 用し、教材テーマの選定や、学習のねらい の明確化などの改善を行う。 ・(52)参加者の減少傾向に対し、早期の実施 予告や参加者募集、継続参加への声掛けを 行う。/発表会や懇談会等、保護者・関係者 等を巻き込む仕掛けが必要で、町主体の学 習内容の体系的な実施と充実、学校との情
住①50	児童館運営事業	B			
住①51	人権を学ぶ会事業	B		◇各事業とも概ね目標は達成されている。 /人権に対する考え方は人それぞれ。人 権を学ぶ機会が提供できればOK。参加 者数にこだわらなくても構いません。	
住①52	人権学習会事業	B		◇各事業とも工夫をしながら実施されてい る。人権への理解が各世代で少しずつ広 がりつつあるように感じる。一方で、人権 学習会が全ての小中学校での実施につな がらないのは残念である。	
住①53	隣保館運営事業	B	B	◇今まで以上にTCC等を利用して周知を することが必要。	

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	外部委員会		
住②54	通学路安全対策事業 児童自転車用ヘルメット着用推進事業	C		◇自然災害に対応できる体制作りを検討したい。 ◇ヘルメット着用推進事業は、ヘルメットを着用している子ども達を見かける事が多く効果が出ている。／通学路安全はボランティアが減少しているとの事ですが、数年単位で検証する様にしてはみてはどうでしょうか。 ◇啓発の工夫が必要と思う。 ◇通学路安全対策事業について周知されていると思うが、なぜ登録者が増えないのか原因を分析して少しでも改善すべき。	報共有を行う。 ・(53)「分かりやすいじんけんの話」の事業拡大。／小中学校の訪問学習など学校との連携強化を図る。 ・(54)ボランティア登録者が例年に比べて少なくなっており、見守り活動についての周知を引き続き行う。 ・(55)道路交通法が改正されR5.4よりヘルメット着用は努力義務となったこともあり、事業について見直す。
住②55		B	B		
住③56	通学合宿事業	C		◇通学合宿については目的を見直した上で、在り方を再検討してみたい。	・(57)意識は、自治会によっても事業所によっても温度差があるため、自治会へは自治会長や町報で、事業所へは新規開業した際に個別訪問で呼びかける。 ・(58)実行委員会等に関わってくれる新成人を集める仕組みが必要で、実行委員会以外でも委員と連絡を取り合い、円滑な式典開催に努める。
住③57	青少年育成町民会議交付金事業 成人式事業	B		◇通学合宿はコロナのため、やむなし。／成人式は実施できたのでOK。／青少年育成町民会議は継続して行うことが重要。継続は力なりです。 ◇青少年育成町民会議交付金事業におけるあいさつ運動、見守りパトロール、社会環境の浄化活動など、CS活動との連携なども取り組めるところがあれば効果や広がりが見込める。／	
住③58		B	B	◇通学合宿事業は、事業効果が疑問。職員の負担も多い。船上山少年自然の家等の他の施設の利用で目的が達成できそうなので	

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
住④59	社会教育団体活動費補助金事業	B			<ul style="list-style-type: none"> ・(59)補助金申請の手続き手順がきちんと伝わっており、活用周知の呼びかけの際には記入例やマニュアルを添付し、手続では丁寧に対応する。 ・(60)メニユーによる申込数の多寡があるため、メニユー活用例紹介、ニーズ把握により多様なメニユー利用につなげる。 ・(61)20～40代の利用を増やしたく、来年度はワーキングスペースの設置と貸出用パソコンの配置・周知を行う。 ・(62)参加者の新規開拓が必要で、チラシを様々な講座が一覧形式にする。またシニアクラブの募集を全戸配布する。 ・(63)難しいテーマについて町民にどう興味を持ってもらい参加につなげるかについて、より積極的な広報や情報発信を行う。 ・(64)作品出展者の新規開拓のため、個別の声掛けを行う。コロナにより練習を中止している団体の芸能発表への参加について、公民館講座やシニアクラブからの出展を勧めめる。 ・(65)コロナ前に比べ取り組み回数が減少しているため、制度自体の広報を行っていくことや、申請者の負担感を減らした手続となるようにする。 ・(66)多様な媒体を使っての周知に努める。部活動地域移行の関係から補助金の取扱いに課題があり、要綱改正について検討して
住④60	社会教育推進事業(出前講座・おとなほくえい塾)	A		<p>廃止も検討してはどうか。</p> <p>◇世代を越えたつながりがづくりを進めた。／美術展では、出品者のコメントを掲示するなど地域ならではの親しみの持てる見せ方ができないだろうか。</p> <p>◇すべての事業で予定・目標通り実施できている。／これらの事業も継続することが重要と考える。</p> <p>◇ほくえい未来ラボ事業の取り組みは、とても新鮮でありよかったと思う。今後も継続する場合、町民にいかに関心を持ってもらえるのか工夫が必要と思う。</p> <p>◇公民館講座事業で、新しい講座の開設や学びの機会が増えて良い。／展示・館賞・発表経費事業で、美術展、公民館まつりとも新規の出展者もあり良かった。</p>	
住④61	公民館運営事業	B			
住④62	公民館講座事業	A			
住④63	ほくえい未来ラボ事業	B			
住④64	展示・鑑賞・発表経費事業	B			
住④65	成果還元活動事業	C	B		
住⑤66	保健体育振興事業(スポーツ県外派遣費補助事業)	B	B	<p>◇アプリを利用したマラソン大会は、運動の日常化を促しやすいという発見があった。／学校のニーズを掘り起こして、活用</p>	

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会		
住⑤67	ウオーキングのまち北栄町推進事業	A		<p>してもらいたい。／文化回廊についてポイントラリーを取り入れるなど人の流れを作る工夫はできないだろうか(できればスマホアプリで)。／北栄文芸など、文化活動をされている方を学校とつないで、こども参加を促してはどうだろうか。／文化・スポーツ活動が個人の教養や楽しみにとどまらず人を繋ぐものとしてとらえ直した授業展開を期待したい。</p> <p>◇少子高齢化により参加者が減少する事が予測される。少なくとも楽しみとしている人がいる事業なので、コンパクトにしても継続していく方向で検討してください。逆に増加している事業は原因調査を行い、他の事業の参考としてください。</p> <p>◇ニュースポーツ体験は広くスポーツを理解し、町民への普及を図る上で有効ではある。しかし、多忙のためスポーツ推進委員が出席できないということでは課題であり、人選の段階で検討することが必要では。／青少年劇場巡回公演を本場に学校が招へいしてほしいのかどうか事前に確認をする必要はある。</p> <p>◇ウオーキングのまち北栄町推進事業で、参加者数が増え大変良いと思う。継続してほしい。／北栄文化回廊事業は、北条ふるさとまつりと連携して来場者を促してはどうか。</p>	<p>いく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(67)多くの参加希望者がいるウオーキングに対応したスタッフ体制の構築が必要。町内の魅力をより発信できるコースの考案が必要。 ・(68)会員の増、スポーツ人口の増を図るため北栄スポーツクラブの活動・役割について、住民に対し更なる周知が必要で、町とスポーツクラブが連携した積極的なPRを行う。 ・(69)スポーツ推進員の日程調整に苦戦しており、委員の負担軽減につながる事業運営方法を検討し、自主活動につなげていく。 ・(70)改善要望のあったものについては、可能な限り対応するよう努める。運営スタッフボランティアの急なキャンセルに対しては、説明会を通してキャンセルしないよう働きかける。 ・(71)開催時期や演目の希望のほか、コロナ禍の人数制限等もあり学校側との調整が必要。 ・(72)活動団体の自主性に任せている部分が多く、必要な支援についてやり取りが必要。 ・(73)期間中は歴民の閉館日をなくし、美術展会場の来場者が流れるように工夫する。 ・(74)定期的な発表機会の提供が必要。 ・(75)編集員の後継者が見つからないため、新聞文芸欄投稿者へ機会をとらえて声掛けを行う。投稿者の減少、新規開拓の困難さがあり、小中学校だけでなく高校等からも作品を出してもらえよう学校に依頼する。 ・(76)参加者の固定化があるため、募集チャ
住⑤68	北栄スポーツクラブ事業	B			
住⑤69	訪問型ニュースポーツ体験事業	B			
住⑤70	すいか・ながいも健康マラソン大会事業	B			
住⑤71	青少年劇場巡回公演委託事業	C			
住⑤72	芸術文化活動促進事業	B			
住⑤73	北栄文化回廊事業	C			
住⑤74	文化財保護対策事業(民俗芸能伝承事業)	B			
住⑤75	北栄文芸編集・発刊事業	B			
住⑤76	民芸実習館事業	B			
	町文化団体協議会補助金事業				
住⑤77		B			

区分	事業名	評価			外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会	外部		
						<p>シを様々な講座が一目で見られる一覧形式にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(77)コロナ禍で活動を自粛した団体の活動参加のため、団体の活動を支援し、新たな会員を増やす取り組みに協力する。高齢化により困難になった作品展示作業への協力を行う。
住⑥78	図書館運営事業	B			◇ギャラリーゆらりの活用状況が見えてこない。／館の立地をいかして観光客を館内に呼び込むような工夫はできないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・(78)わかりやすく、リピーターを飽きさせない書棚づくりを意識し、改善する。貸出状況、ニーズを分析し、新鮮な資料の維持に努める。 ・(79)新規参加者の獲得で、広報の速さと内容の創意工夫に努める。 ・(80)広報の早めの発信と拡充を行う。夢の図書館プロジェクトメンバーによる振り返りの会を行い、メンバーの拡充に向けて働きかける。 ・(81)ニーズに合ったおはなし会の時間設定の見直しを行う。マタニティファーストブックの配布方法の見直しを行う。
住⑥79	図書館運営事業(図書館講座・教室事業)	C			◇色々なイベントで図書館をアピールされているのは良い。／従来の図書館のイメージを捨てて、憩いの場とし「そこに本がある」という令和時代の図書館にしてはどうでしょうか。	
住⑥80	図書館魅力化事業	B			◇「北栄町と言えば絵本」というようなイメージをもっと具体的な事業で打ち出してほしい。絵本でつながる町を押し出してほしい。	
住⑥81	絵本でつながるまちづくり事業	B	B		◇いい事業なので事前にケーブルテレビや新聞等でも周知できないか検討してはどうか。	
住⑦82	地域副読本作成活用事業	B			◇みらい伝承館の企画は楽しく学べる工夫がある。／「出かける歴史」のような企画は難しいだろうか。／町長と語る会では、CSの動きからの新しい形ができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・(82)偉人マンガに親しめるような活用策が必要。手軽に地域副読本に触れられるよう電子書籍化を検討する。 ・(83)企画展ごとに来てほしい年齢層等を考慮して周知方法を検討する。 ・(84)文化財の継続的な整理作業の実施と、文化財紹介による周知や保護意識の醸成を図る。 ・(85)専門知識を持った職員を増やすため、
住⑦83	歴史民俗資料館(北栄みらい伝承館)展示事業	B			◇町の歴史や文化財に興味を持つ町民は一定数存在する。これらの人々には楽しい事業。それ以外の人々には、興味をひくプログラムを感じて情報発信してみてもどうか。	
住⑦84	文化財保護対策事業	B	B			
住⑦85	町内遺跡発掘調査事業	B				
住⑦86	ウォーキングのまち北栄町推進事業(歴史探訪ウォーク)	B				

区分	事業名	評価		外部評価委員のコメント(○) 教育委員のコメント(◇)	成果や課題、今後の方向性 ※(事業番号)
		事務局	委員会 外部		
住⑦87	中学校教育振興事業(中学生と町長が語る会)	A		<p>文化産業等に対する理解を深めていくことは大切であり、今後も継続してほしい。 ◇テレビ等でも周知されているが、継続して積極的に取り上げられてもっているのも良い。</p>	<p>県職員等関係者の協力を受け、職員の資質向上を図る。研修会への参加、現場実績を積み重ねること等により知識を深める。 ・(86)町の歴史をより深く学ぶためのコースの考案が必要。</p>

IV 委員及び活動の詳細

1 教育委員・教育長

(1) 在任状況

職名	氏名	就任年月日	任期	保護者	備考
教育長	北野 昭雄	R4.4.1	R6.3.31		R4.9.30 退任
教育長職務代理人 (~R4.9.30)	光村哉智代	H25.11.15	R4.11.14		任期満了 退任
教育長職務代理人 (R4.10.1~)	徳岡 幸裕	H29.11.15	R7.11.14		
委員	竹信 純一	H3.4.1	R6.11.14		
委員	吉田由香里	R1.11.15	R5.11.14	○	
委員	岡崎しづみ	R4.11.15	R8.11.14		

(2) 委員の異動

教育長及び委員4名の体制でスタートしました。任期満了を迎えて退任した光村哉智代委員（職務代理人）の後任として、岡崎しづみ委員が新たに就任しました。また、北野昭雄教育長が、任期を残し令和4年9月30日付で退任となりました。そして、令和4年10月1日付で教育長職務代理者が、光村哉智代委員から徳岡幸裕委員に交替しました。

2 教育委員会等の会議の詳細（令和4年度中）

(1) 委員会の開催状況

①第4回定例会（4月22日）

- 議案第23号 こども園評議員の委嘱について
- 議案第24号 北栄町教育行政評価委員の委嘱について
- 議案第25号 北栄町部活動のあり方検討委員の委嘱について
- 議案第26号 小中学校主任等の任命について
- 議案第27号 北栄町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について
- 議案第28号 北栄町スポーツ推進審議会委員の任命について
- 議案第29号 北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について
- 議案第30号 北栄町図書館開館時間の変更について
- 協議事項 2022年度 こども園・小・中学校計画訪問について
第8回北栄町いじめをなくそうサミットについて

②第5回定例会（5月30日）

- 議案 なし
- 協議事項 北栄町図書館の利用に関するアンケート調査（案）について
「夢の図書館プロジェクト」の実施について
成人式（仮称）の名称について
北栄町環境審議会委員の推薦について
2021年度教育行政評価の教育委員会評価について
北栄町教育振興計画の改訂について

③第6回定例会（6月28日）

- 議案第31号 北栄町人権を尊重するまちづくり審議会規則の一部を改正する規則の制定について
- 議案第32号 北栄町区域外学校通学者給食費負担軽減給付金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について協議事項 前期計画訪問の振り返りについて
- 協議事項 北栄町民生委員推薦会委員の推薦について
北栄町教育振興計画の改訂に
2022年度教育委員視察研修について
西暦表記について

④第2回臨時会（6月28日）

- 議案 なし
- 協議事項 教員の児童への不適切な発言について

⑤第7回定例会（7月26日）

- 議案 なし
- 協議事項 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果公表等について

⑥第8回定例会（8月30日）

- 議案第33号 北栄町図書館開館時間の変更について
- 協議事項 図書館魅力化事業について

⑦第9回定例会（9月27日）

- 議案第34号 教育長の辞職について
- 協議事項 なし

⑧第10回定例会（10月31日）

- 議案 なし
- 協議事項 令和4年度こども園・小・中学校諸表簿の点検結果について
成人式の名称について

⑨第11回定例会（11月28日）

議案第35号 北栄町立小学校及び中学校の校区外就学等に関する認定要綱の一部を改正する要綱の制定について

協議事項 なし

⑩第12回定例会（12月27日）

議案 なし

協議事項 なし

⑪第1回定例会（1月31日）

協議事項 児童生徒表彰の内申について

小中学校及びこども園の卒業（園）式・入学（園）式の方針について

北栄町明るい選挙推進協議会委員の推薦について

⑫第2回定例会（2月28日）

議案第1号 令和5年度教育委員会関係予算に対する意見について

議案第2号 北栄町出産・子育て応援給付金交付要綱の制定について

議案第3号 北栄町生徒派遣費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について

議案第4号 北栄町社会教育委員及び北栄町公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第5号 北栄町歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

協議事項 卒業式・卒園式でのマスク着用について

⑬第1回臨時会（3月6日）

議案第6号 令和4年度末教職員人事異動内申について

協議事項 なし

⑭第3回定例会（3月22日）

議案第7号 教育委員会事務局職員の人事（出向）について

議案第8号 教育委員会事務局職員の任命について

議案第9号 令和5年度北栄町立小学校及び中学校の学級編成基準について

議案第10号 北栄町小中学校等入学祝い金支給要綱の制定について

議案第11号 北栄町産後ケア事業実施要綱の一部改正について

議案第12号 北栄町学校給食費徴収条例施行規則の一部改正について

議案第13号 北栄町スポーツ県外派遣費補助金交付要綱の一部改正について

議案第14号 令和5年度こども園、小学校及び中学校医の委嘱について

議案第15号 北栄町中学校区学校運営協議会委員の任命について

議案第16号 北栄町スポーツ推進委員の委嘱について

協議事項 なし

(2) 総合教育会議の開催状況

①第1回総合教育会議(12月5日)

議 題 ・令和4年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえた現在の状況について

(3) 視察、研修等の参加状況

・市町村教育委員会委員等研修会(1月)

(4) 意見交換会・計画訪問・諸行事への参加状況

①計画訪問

園・学校	前期	後期
北条こども園	6月2日午前	11月1日午前
大誠こども園	5月26日午前	10月18日午前
由良こども園	6月1日午前	10月19日午前
大谷こども園	5月31日午前	10月25日午前
北条小学校	6月22日午前	11月4日午前
大栄小学校	6月21日午前	11月9日午前
北条中学校	6月15日午前	11月8日午前
大栄中学校	6月17日午前	11月11日午前

②諸行事への参加

令和4年4月	11日：小中学校入学式
11月	3日～15日：北栄町美術展
12月	10日：北栄町じんけんフェスティバル 17日：ほくえい未来ラボ最終発表
令和5年1月	29日～2月5日：公民館まつり
3月	10日：中学校卒業式、17日：小学校卒業式